

第7回計画部会における主な指摘について

平成 19 年 1 月 29 日
宇宙開発委員会事務局

イノベーションの創出のためには、異質な知識との融合が大切であり、それをいかに進めていくかということが重要である。

イノベーションの創出のためには、競争的な環境と、人材の流動性が必要である。

イノベーションの創出のためには、モチベーションを生み出す仕組み作りが必要であるとともに、高いモチベーションを持った人が、そのモチベーションを**活かせる**¹ような環境が必要である。

失敗を許容し、挑戦すること勇気づけるような文化が国として必要である。

コミュニケーションプロセスとしてのブランドの構築が重要である。

限られた人的資源のなかで、JAXA がすべてを担うのは不可能であり、外部を取り込む努力が不可欠である。そのために、外部に対する情報発信、外部とのコミュニケーションが重要である。JAXA の職員自らが、外に出て行き、技術の売り込みをすべきである。

広報に力を入れて、異分野とのコミュニケーションを行うことで、

日本**初**²のスピノフをもっと生み出すことができるのではないか。

ホームページでの広報活動は、ホームページを見る対象ごとに内容を充実させるべきである。特に、研究者向けとしては、データのアーカイブを整備すべきである。

資源の一部を広報に投入することは必要であるが、残りの資源は、本業としての宇宙開発、宇宙科学研究に全力投入すべきである。

¹ 「活かせる」であろう。

² 「発」であろう。